名古屋市の新しい交通まちづくりの実現に向けた第一歩 みちまち市民ミーティングの開催報告

1. はじめに

近年、都心部における歩行者と自動車・自転車の混在は、来街者を危険な状態に陥れるだけでなく、まちの魅力を衰退させる要因となっています。そのため、多くの自治体では都心部や中心市街地から自動車交通を減らし、人間中心のまちづくりを進める機運が高まっています。一方で、このような取り組みには、市民の理解と協力が必要不可欠であり、何よりも市民が望むまちの姿を明確にする必要があります。

名古屋市では、平成 22 年 12 月 27 日、名古屋市交通問題調査会が河村市長に答申した「なごや新交通戦略」を踏まえ、本答申が掲げる「みちまちづくり」の実現に向けた検討を進めてきました。平成 25 年 9 月には、「なごや交通まちづくりプラン～みちまちづくりの推進のために～（素案）」を公表し、市民からの意見収集を図ってきました。本プランについては、以下の HP をご覧ください。

http://www.ido.city.nagoya.jp/machidukuri/index.html

今回報告する「みちまち市民ミーティング」は、その一環として行われたものです。

２．市民ミーティングの概要

交通まちづくりプランの策定に先立ち、様々な立場の市民が参加・協力して、名古屋のまちと交通について考え、プランへの意見や提案を出し合い、まとめる場として、「みちまち市民ミーティング」が企画されました。

また、このミーティングでは、計画策定前の段階として、今後の名古屋の進むべき方向について、自由闊達に議論をして頂きました。このように、プランを成案として作り上げる前の素案の段階から、市民に公表し、対面で意見を伺うというやり方は、プランに市民の意見を十分に取り込める機会が増え、合意形成面でも有効に作用することが期待できます。

参加市民は、無作為抽出で選ばれており、利害関係の有無などにとらわれず、市民全体の意見をうかがうことができたのではないかと考えられます。具体的には、4,000 名の名古屋市民に対し、みちまち市民ミーティングの案内状が送付され、参加希望者の 107 名から抽選で 68 名を選出しています。実際の参加者は 55 名でした。

【開催概要】

日時：平成 25 年 11 月 30 日（土）　10 時～16 時 30 分

場所：栄ガスビル　401 会議室（名古屋市中区栄 3-15-33）

参加人数：55 名

ミーティングでは、55 名の参加者を 12 グループに分け、「都心部の歩行者空間を拡充すること」、「駐車場を集約化して減らしていくこと」、「新しい路面公共交通を導入し、移動の選択肢を増やすこと」の３つのテーマについて議論をしてもらいました。また、各テーマについて、ある１グループは、上記のうち、１テーマだけについて意見交換を行い、その後、席替えによって、テーブルとテーマを変え、３ラウンド続けて議論を積み上げる、所謂ワールドカフェ方式で実施しました。

これら一連の議論を終えたあとは、参加者個人が各テーマに対する意向を投票し、全体の傾向を全員で共有し、さらに全体での意見交換を重ねました。

参加者の方は、朝早くから夕方まで、大変熱心に、議論を重ねて頂き、長時間の疲労にも関わらず爽やかな面持ちで帰られる姿が大変印象的でした。

当日は、NHK 等のテレビ局も入り、中京地域ではちょっとした話題のイベントになったようです。後日、特集番組も放映されていたようです。

ミーティングの状況は、先述の HP でもご覧いただけますので、興味のある方は閲覧ください。

３．おわりに

今後名古屋市では、このミーティングで得られた意見を大切にし、交通まちづくりプランの成案を公表することになると思います。国内でも先進的な施策提言である、名古屋の「みちまちづくり」が、先進的な合意形成手法である「市民ミーティング」を踏まえ、早期に実現されることを期待したいと思います。

（文責：日建設計総合研究所　安藤 章）